

【確定値】

1-1性別(バス)

1-1性別(デマンド)

項目	回答数	割合
男性	39	34.9%
女性	72	64.2%
無回答	1	0.9%
合計	112	100.0%

項目	回答数	割合
男性	7	17.9%
女性	30	76.9%
無回答	2	5.2%
合計	39	100.0%

バスアンケートではおよそ6割、デマンドタクシーアンケートでは7割以上が女性となっている。

1-2年齢(バス)

1-2年齢(デマンド)

項目	回答数	割合
10歳代	50	44.5%
20歳代	1	0.9%
30歳代	2	1.8%
40歳代	6	5.4%
50歳代	7	6.3%
60歳代	8	7.1%
70歳代	17	15.2%
80歳代以上	20	17.9%
無回答	1	0.9%
合計	112	100.0%

項目	回答数	割合
10歳代	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	0	0.0%
40歳代	0	0.0%
50歳代	0	0.0%
60歳代	1	2.6%
70歳代	16	41.0%
80歳代以上	21	53.8%
無回答	1	2.6%
合計	39	100.0%

バスでは主に10代(高校生)の回答が全体の4割以上を占めていることから主に通学で利用されていることが分かる。デマンドタクシーでは70歳～80歳以上の利用が全体の9割以上を占めている。

1-3家族形態(バス)

1-3家族形態(デマンド)

項目	回答数	割合
一人暮らし	19	17.0%
夫婦・子どもと同居	67	59.7%
3世代以上の同居	19	17.0%
その他	0	0.0%
無回答	7	6.3%
合計	112	100.0%

項目	回答数	割合
一人暮らし	8	20.5%
夫婦・子どもと同居	22	56.4%
3世代以上の同居	7	17.9%
その他	0	0.0%
無回答	2	5.2%
合計	39	100.0%

バス・デマンドタクシーとも、夫婦子どもと同居の割合が5割以上となっている。

1-4職業(バス)

1-4職業(デマンド)

項目	回答数	割合
会社員・パート等	14	12.5%
学生	51	45.5%
無職	36	32.1%
その他	2	1.8%
無回答	9	8.1%
合計	112	100.0%

項目	回答数	割合
会社員・パート等	0	0.0%
学生	0	0.0%
無職	34	87.2%
その他	0	0.0%
無回答	5	12.8%
合計	39	100.0%

バスは学生の割合が高い。デマンドタクシーは利用者のほとんどが70歳以上であったことから無職の割合が高い。

2-1利用頻度(バス)

項目	回答数	割合
週に4~5	25	22.3%
週に1~3	39	34.8%
月に1~3	23	20.5%
年に数回	7	6.3%
不定期	12	10.7%
利用しない	6	5.4%
合計	112	100.0%

2-1利用頻度(デマンド)

項目	回答数	割合
週に4~5	0	0.0%
週に1~3	21	53.8%
月に1~3	18	46.2%
不定期	0	0.0%
利用しない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	39	100.0%

バスを週に複数回利用する人が7割程度おり、バスを利用しないと回答した人は5%程度あつた。デマンドタクシーは週に1~3利用する人が5割以上で、次いで月に1~3回で利用する人が5割弱となっている。

2-2往復か片道(バス)

項目	回答数	割合
主に往復利用	62	55.4%
主に片道利用	45	40.2%
無回答	5	4.4%
合計	112	100.0%

2-2往復か片道か(デマンド)

項目	回答数	割合
主に往復利用	38	97.4%
主に片道利用	0	0.0%
無回答	1	2.6%
合計	39	100.0%

デマンドタクシーは往復利用が9割以上であるのに対して、バスの往復利用は6割弱に留まっていることから、今後、往復利用につながる運行を検討する必要がある。

## 2-3主な利用路線(バス)

項目	回答数	割合
美里線	63	56.3%
中坪線	10	8.9%
北浦線	12	10.7%
不動堂線	7	6.3%
青生.下小牛田線	16	14.3%
無回答	4	3.5%
合計	112	100.0%

美里線利用者が5割以上を占め、他の路線はそれぞれ1割程度である。中でも不動堂線が6.3%と最も低い結果となった。

## 2-4利用目的(バス)

項目	回答数	割合
病院	29	25.9%
買い物	38	33.9%
通学	44	39.3%
公共施設の利用	14	12.5%
通勤	7	6.3%
趣味・娯楽	5	4.5%
その他	4	3.6%
無回答	8	7.1%
合計	149	133.1%

## 2-4利用目的(デマンド)

項目	回答数	割合
病院	31	79.5%
買い物	15	38.5%
通学	0	0.0%
公共施設の利用	0	0.0%
通勤	0	0.0%
趣味・娯楽	2	5.1%
その他	0	0.0%
無回答	3	7.7%
合計	51	130.8%

※複数選択項目のため、100%を超えています。

バスの利用目的は高校生が多いため通学が4割弱、次いで買い物が3割以上となっている。デマンドタクシーの利用目的は病院が8割弱となっている。バス利用者は高校生が、デマンドタクシー利用者は高齢者が多いことが深く関与していると考えられる。

### 3-1利用満足度(バス)

項目	回答数	割合
満足	43	38.4%
ほぼ満足	37	33.0%
やや不満	18	16.1%
不満	11	9.8%
無回答	3	2.7%
合計	112	100.0%

### 3-1利用満足度(デマンド)

項目	回答数	割合
満足	18	46.2%
ほぼ満足	21	53.8%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	39	100.0%

バス利用者はほぼ満足以上が7割以上で、デマンドタクシー利用者は回答者全員が満足、ある程度満足していることが分かった。

### 3-2不満、やや不満の理由(バス)

項目	回答数	割合
運行時刻	3	5.0%
運行本数	40	66.7%
運転手の対応	5	8.3%
その他	9	15.0%
無回答	3	5.0%
合計	60	100.0%

### 3-2不満、やや不満の理由(デマンド)

項目	回答数	割合
運行範囲が限定されている	0	
運賃が高い	0	
予約が面倒	0	
その他	0	
無回答	0	
合計	0	

バス利用者は主に運行本数に不満を感じていることが分かった。デマンドタクシーに関しては、不満の意見はなかった。

## 3-3今後の運行の在り方(バス)

## 3-3今後の運行の在り方(デマンド)

項目	回答数	割合
利便性向上のため運賃引き上げ	28	25.0%
現状運賃での可能な見直し	41	36.6%
利便性は維持しつつ運賃を安く	36	32.1%
無回答	7	6.3%
合計	112	100.0%

項目	回答数	割合
利便性向上のため運賃引き上げ	3	7.7%
現状運賃での可能な見直し	0	0.0%
利便性は維持しつつ運賃を安く	36	92.3%
無回答	0	0.0%
合計	39	100.0%

バス利用者は、現行の料金を維持したままで可能な見直しを求めていることから可能な範囲で利便性向上につながる運行を検討する必要がある。一方で、デマンド利用者は高齢者が多いことから、安価な料金で現行維持を求めていることを踏まえた運行を検討する必要がある。